

1章

外傷診療に携わる上で 知っておきたいこと

手術かIVRは、どちらか片方が行えればよいのか？ 外傷は減ってきているからもう取り組まなくてよいのか？ といった疑問をエキスパートにぶつけてみました。外傷外科医にとってのスピード感覚とIVRの位置づけ、今後の患者状態を予測するためのABCDEFGSについても解説しています。外傷診療で使われる合言葉は本書を読み進める上で必修です。読影室を出て、Radiologyのチカラを診療現場で発揮するための準備を整えましょう。